

心の輪11R



『私もいじめた一人なのに・・・』

という資料を通して、

「いじめ」について考えを深めました！

私がもし、このような場面に出会ったら、何が何でもいじめられている側の子を助けようと思った。自分も最初はやめさせることが出来ないと思っていたけれど、いじめられている子の気持ちを考えると、助けたいと思うから。

この女の子は本当にすごいと思います。自分がいじめられていて本当に辛かったはずなのに、そのいじめていた人の分の花にまで気を遣っていて、私だったら考えられない。もし「私」の立場だったら、「私」はもう男の子とかに嫌われても良いから女の子を守りたいと思って、色々な思いを込めて男子を殴ったんだと思いました。

一度、相手の気持ちになって自分だったらどんな気持ちになるか考えてみたらいいと思いました。かばってあげるのは、自分的にも相手の気持ちをよく考えていることだと分かりました。

正しいと思ったことをきちんと行えるためには、自分の口からきちんと言える勇気や行動に移せる強い気持ちが必要だと思った。だから、私も勇気を出したいと思った。

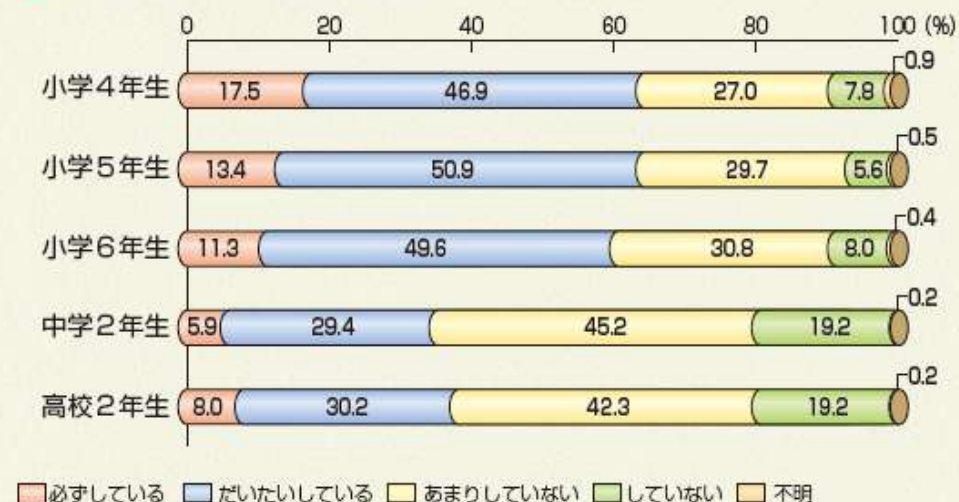
自分が正しいと思ったことをきちんと行うには、勇気が大切だと思います。「自分もいじめられるかも」などと思っていても、もっと辛いのは、そのいじめられている子だから、勇気を出してちゃんと「だめ」と言った方がいいと思います。

自分がこういう場面にあったら、一歩踏み出して「ダメ！」と言いたいです。一度いじめられたことがあって苦しかったときに、助けてくれた人がいたから自分も助けたいです。

正義感

「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」

■あなたはどのくらいしていますか。



国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度)

文部科学省資料

『私たちの道徳』P.162 より引用

いじめられている人を見て、助けたいとおもうけど、やっぱり自分もいじめはされたくないし、助けることをしようとする勇気がなかなか出せないと思った。

いじめられている人がいたら、まず、その人の気持ちを分かってあげて、すぐには止められないけど、その人にかばったりして、少しでも気持ちだけでも救ってあげたらいいと思った。

今日の学習から、自分が正しいと思ったことをきちんと伝えるためには、第一に、いじめられている人の気持ちだけを考慮して、その子に自分の気持ちを伝えてから自分とその子の気持ちを、勇気を出して言うことが大切だと思った。

もし、いじめられている人がいても、すぐには止めてあげることが出来ないけど、少しずつでも何か力になってあげられるようにしていきたい。